



2023年3月期 第3四半期 決算説明会

2023年1月30日

NECネットエスアイ株式会社

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

取締役執行役員常務 兼 CFO

関澤 裕之

2023年3月期 3Q累計 業績サマリー

(単位：億円)

	22年3月期 3Q累計	23年3月期 3Q累計	前年同期 差/比
受 注 高	2,435	2,500	+3%
売 上 高	2,188	2,219	+1%
売 上 総 利 益 (売上総利益率)	420 19.2%	435 19.6%	+15 +0.4pt
販売費および一般管理費	298	324	△25
営 業 利 益 (営業利益率)	122 (5.6%)	112 (5.0%)	△10 △0.6pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	77 (3.5%)	61 (2.8%)	△16 △0.7pt
フリー・キャッシュ・フロー	92	△23	△116
(参考) 受注残	1,629	1,950	+20%

受注残拡大も、損益はSG&A増や
為替影響をカバーできず減益

受 注 高：

- 分野別に濃淡あるも、全般的に**堅調**
一般企業  通信事業者 
- 一部4Qへ期ズレ

売 上 高：

- **案件の長期化**で、SI/工事は横ばい

利益項目：

- **売上遅延**傾向に加え、**攻めのコスト増**(SG & A△25)や**円安**(△12)が影響
- 特殊要因(海外)による改善(+21)
 - ・タイPJにおける損失(△11：2Q)
 - ・ミャンマーPJ(+32) ※P3参照

2023年3月期 3Q累計 事業内容別受注高/売上高

SI／工事：受注は拡大も、売上は案件長期化による期ズレもあり横ばい

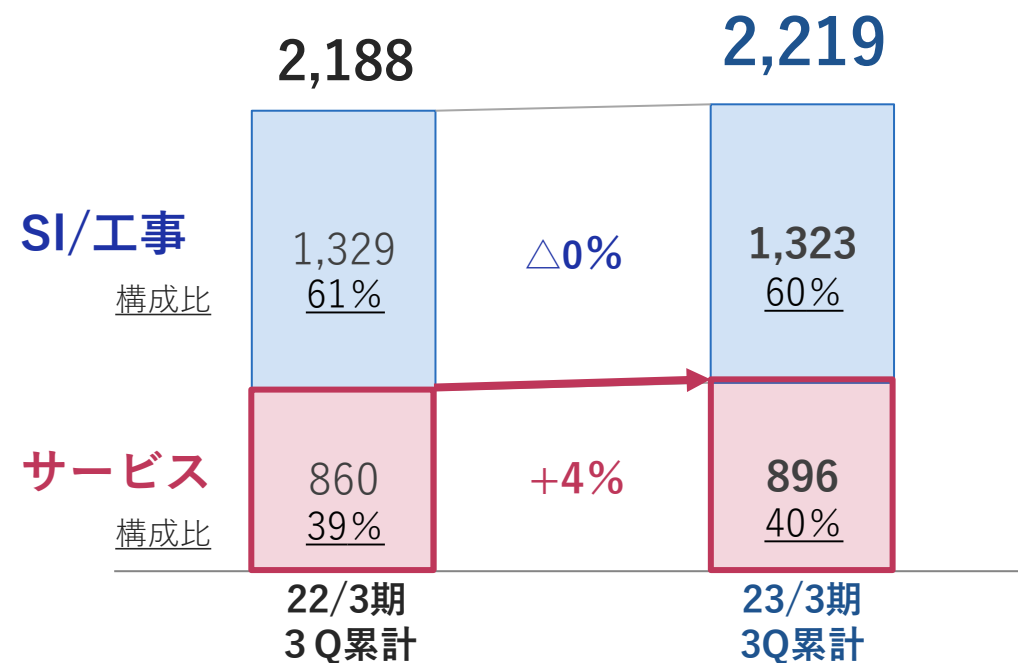
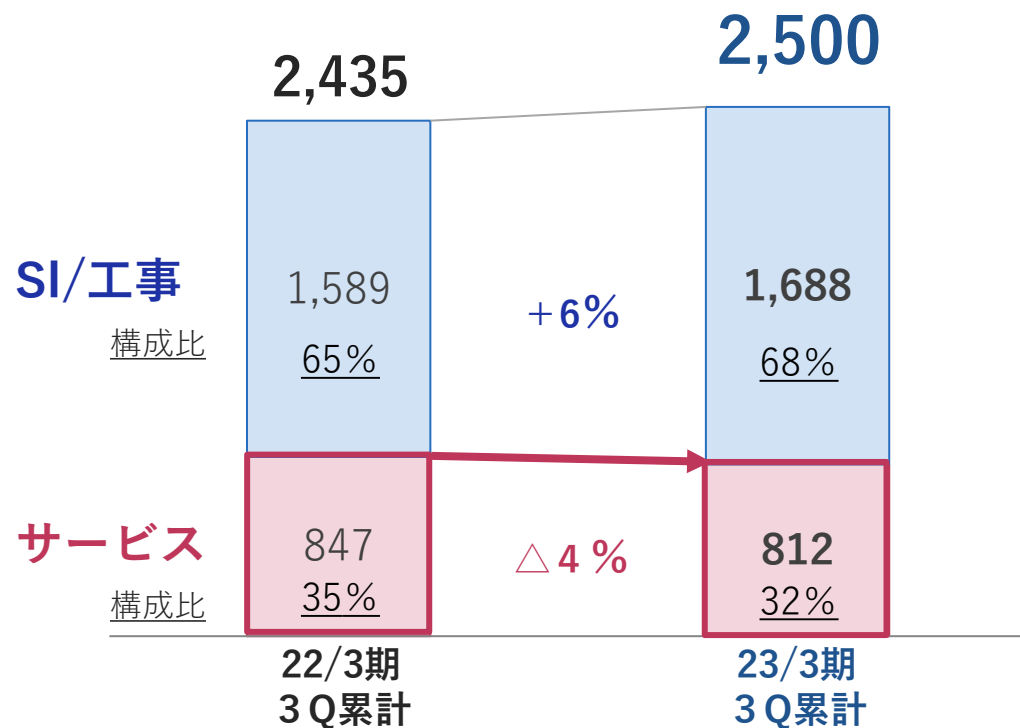
サービス：受注は前年大型案件反動あり減少も、売上は安定的に拡大

(官公庁・自治体向け)

受注高

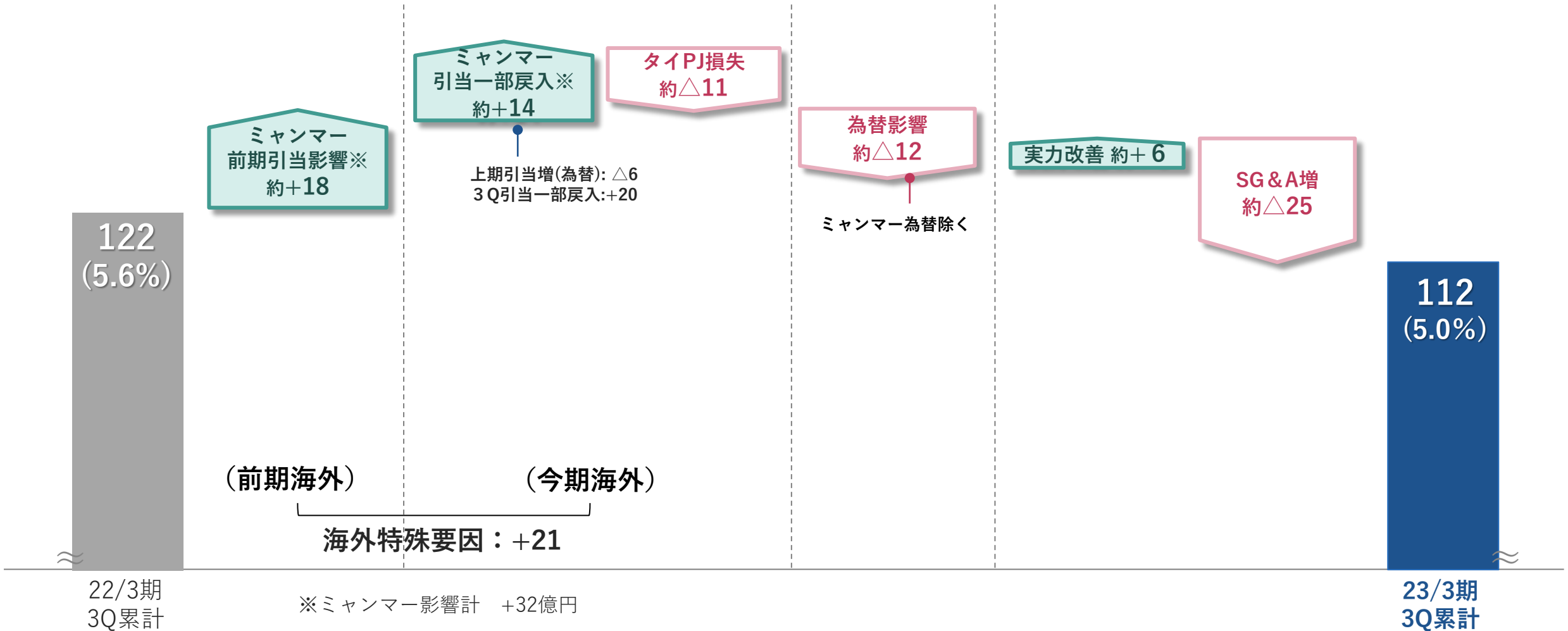
売上高

(単位：億円)



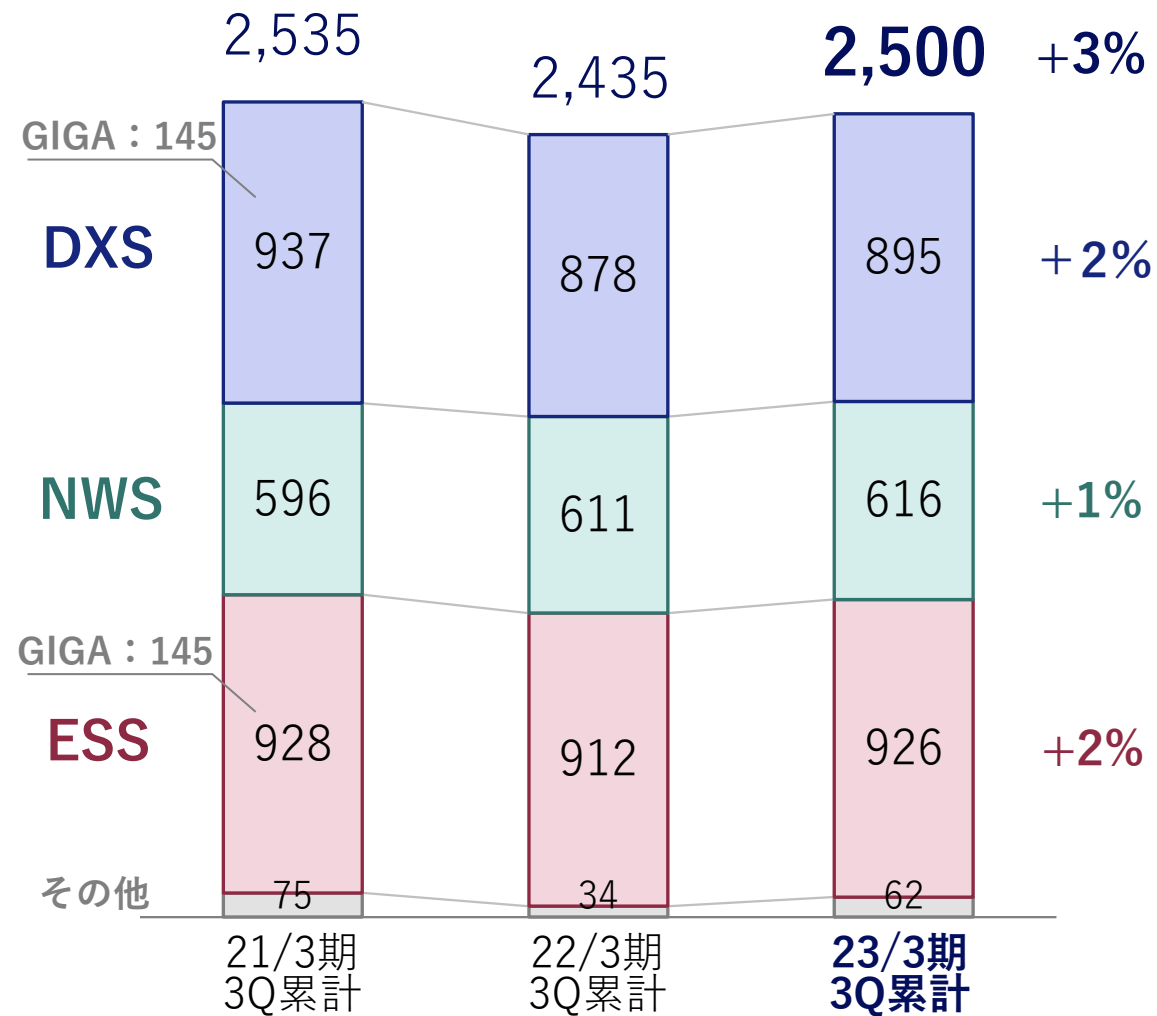
営業利益増減要因

(単位：億円)



2023年3月期 3Q累計 セグメント別受注高

(単位：億円)



DXソリューション(DXS)

- 金融向け機器案件などSI/工事が増加(+29)
- DX/働き方改革分野は前年大型反動あるも堅調に推移(+10%)

NWソリューション(NWS)

- ローカル 5 G関連や海洋事業が増加
- 前年大型案件の反動等により、通信事業者向けは減少
 - ・ DX活用による運用業務効率化等の付加価値領域は増加

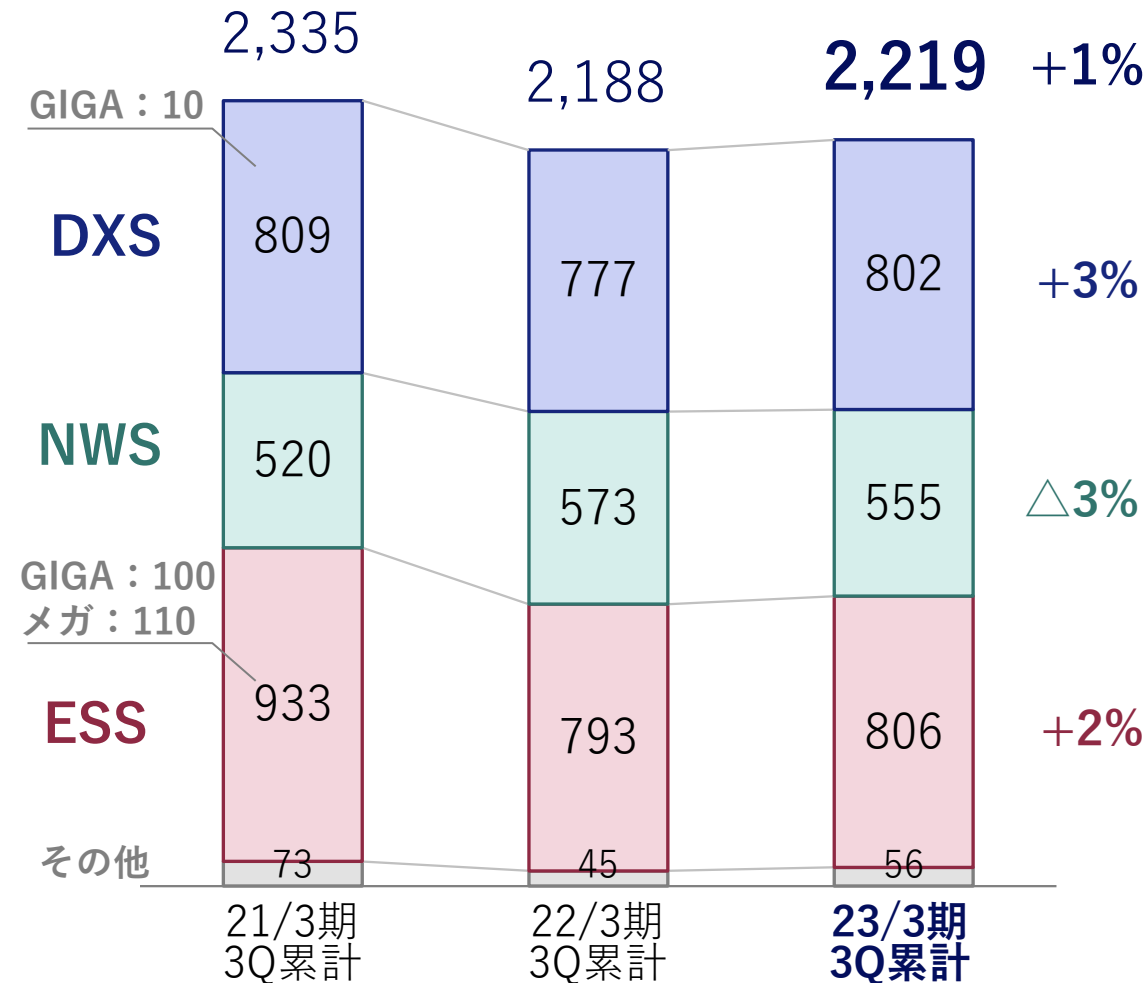
社会・環境ソリューション(ESS)

- 前年海外大型案件※の反動あるも、防災大型案件等の国内SI/工事でカバー

※サウジアラビア国プラント通信工事PJ

2023年3月期 3Q累計 セグメント別売上高

(単位：億円)



DXソリューション(DXS)

- サービス事業は拡大(+9%)
- SI/工事は案件長期化の影響で減少

NWソリューション(NWS)

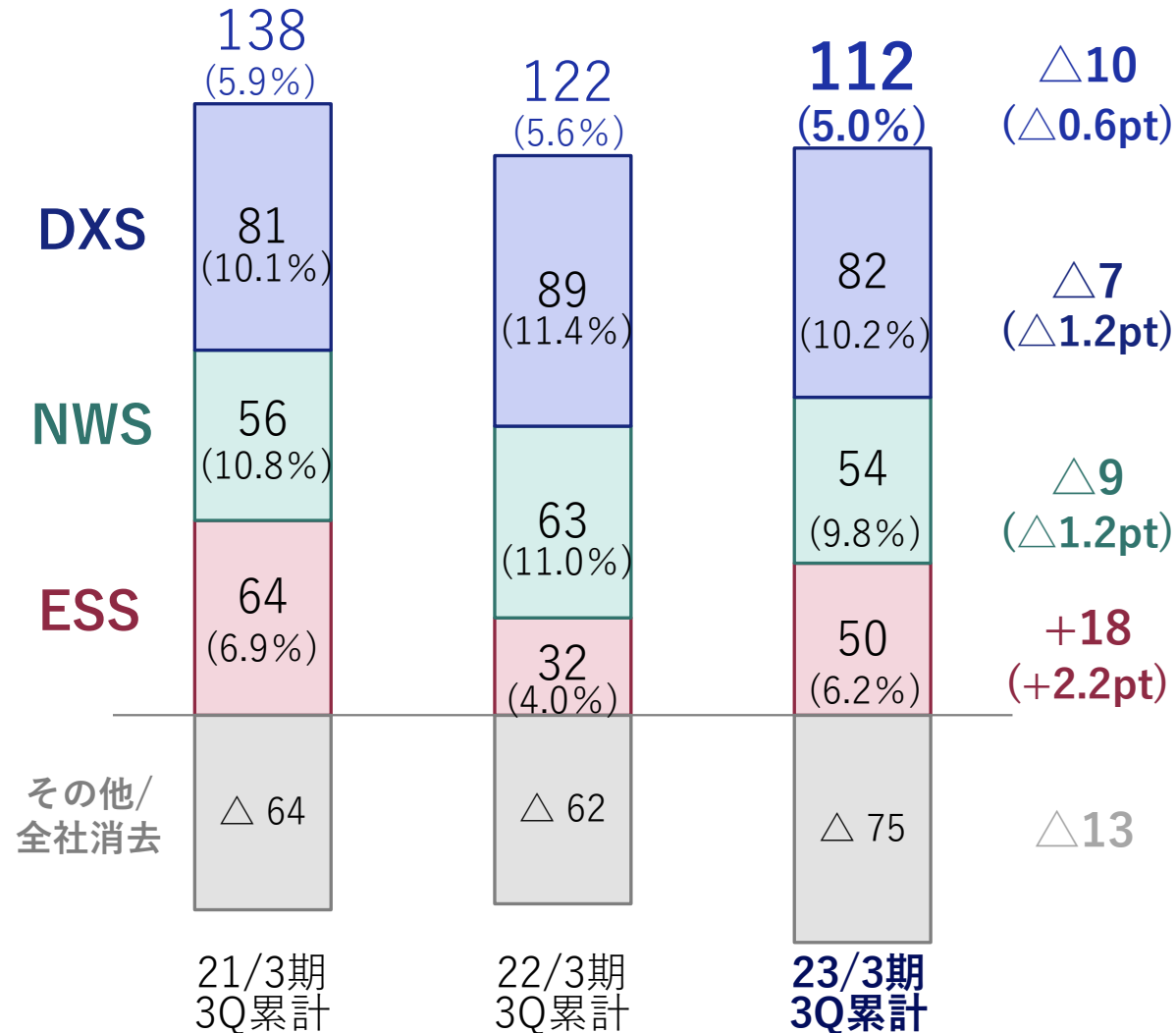
- 海洋事業は増加も通信事業者向けが減少

社会・環境ソリューション(ESS)

- キットティング案件、海外施工などのSI/工事が増加

2023年3月期 3Q累計 セグメント別営業利益

(単位：億円)
※()内は営業利益率



DXソリューション(DXS)

- 為替や攻めのコスト増が影響
- DXサービス転換への端境期、MIX悪化
 - ・ PBX関連減少、機器案件が一時的に増加

NWソリューション(NWS)

- 売上減や攻めのコスト増で減益

社会・環境ソリューション(ESS)

- 特殊要因(海外)による改善
 - ・ タイPJにおける損失(△11)
 - ・ ミャンマーPJにおける改善※P3参照

その他

- 本社移転費、基幹システム開発費等で悪化

(参考)セグメント別 売上総利益率

	3Q累計		
	22年3月期 3Q累計	23年3月期 3Q累計	前年同期 差/比
DX ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	22.4%	21.1%	△1.3pt
ネ ッ ト ワ ー ク ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	22.2%	22.8%	+0.6pt
社 会 ・ 環 境 ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	15.2%	17.3%	+2.1pt
全社	19.2%	19.6%	+0.4pt

※為替影響、PBX関連減、機器案件増

※特殊要因(海外)による改善

2023年3月期 業績予想値について

(単位：億円)

	22/3期 実績	23/3期 予想	前年差/比	前回予想 (10月28日)	前回差
受 注 高	3,368	3,500	+4%	3,500	—
売 上 高	3,103	3,220	+4%	3,300	△80
営 業 利 益 (営業利益率)	232 (7.5%)	220 (6.8%)	△12 △0.7pt	220 (6.7%)	— +0.1pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (当期純利益率)	150 (4.8%)	130 (4.0%)	△20 △0.8pt	130 (3.9%)	— +0.1pt

(参考) 受注残	1,652	1,949	+18%
----------	-------	-------	------

※3Q 受注残と4Q予想から簡易的に算出した理論値です

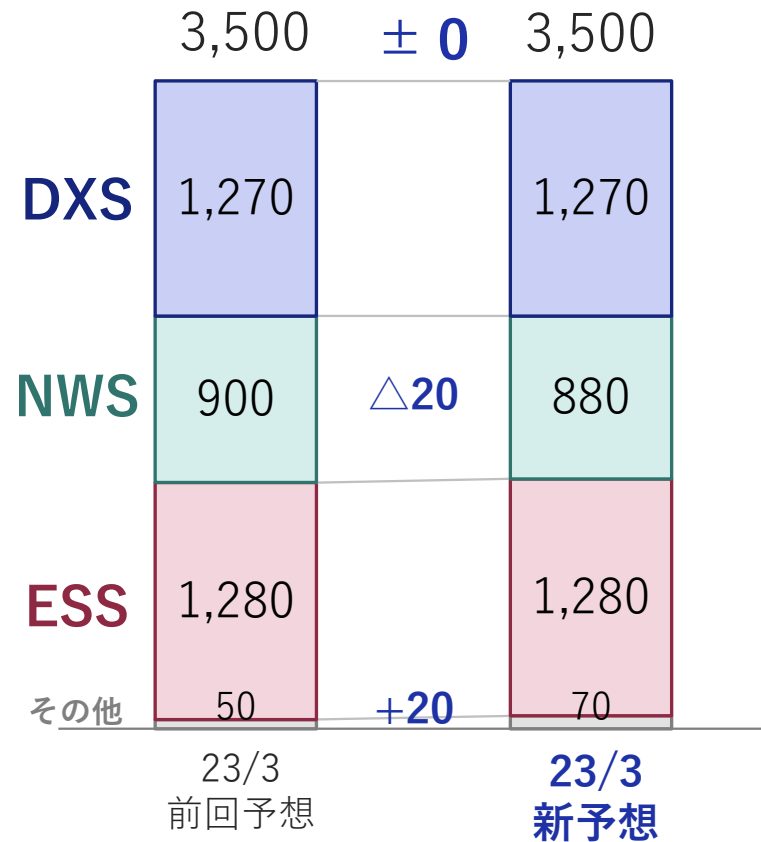
3Qまでの進捗を鑑み 売上を下方修正

- 受注高
 - ・従来予想通り過去最高をめざす
- 売上高
 - ・受注時期の遅れに伴う売上期ズレや
通信事業者向け事業の減少を考慮
- 営業利益
 - ・上記売上減の影響あるも、
特殊要因(海外)による改善で修正なし

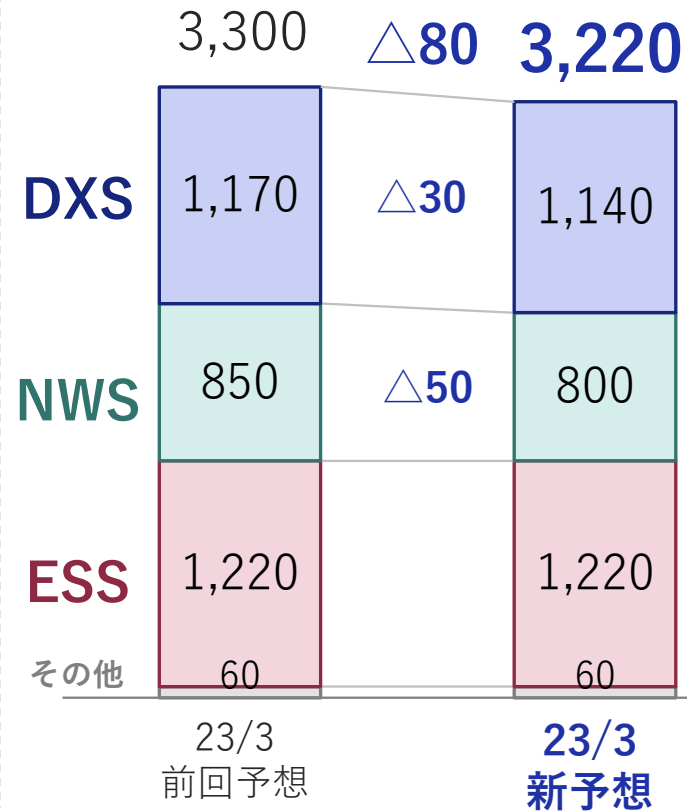
2023年3月期 通期 セグメント別業績予想

(単位：億円)

受注高

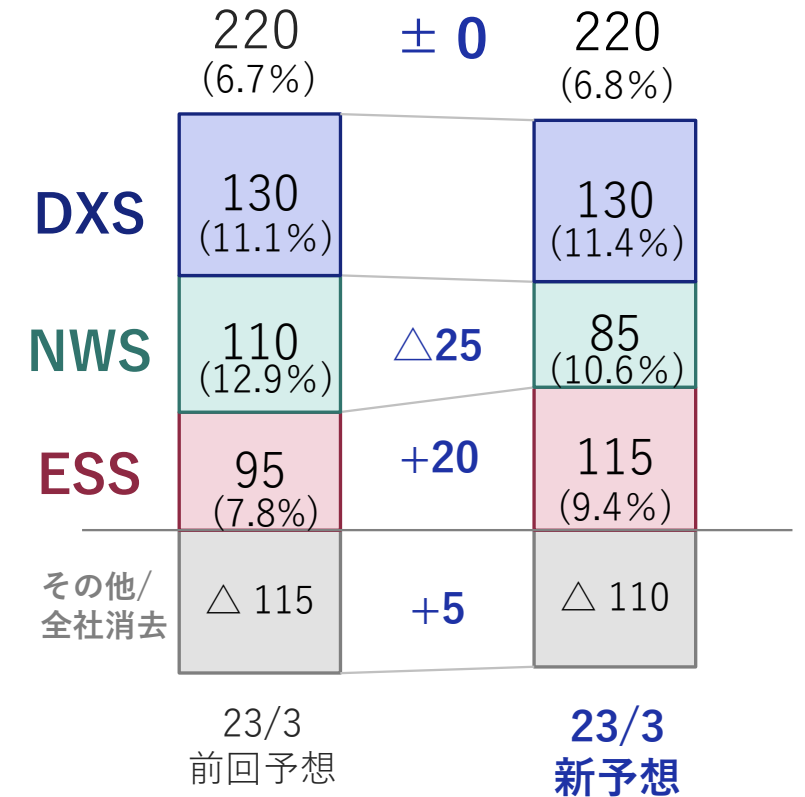


売上高



営業利益

※()内は営業利益率



(参考) 遡及開示、補足データについて

- ・新セグメントにおける過年度の四半期遡及データ
- ・補足データ(事業内容別やマーケット別など)

については、以下のURLに掲載の補足資料をご覧ください。

<https://www.nesic.co.jp/ir/library/kessan/2023.html>

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2022年4月1日の組織改正に伴い、2023年3月期よりセグメントを変更しています。本資料における2021年3月期および2022年3月期のセグメント実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。なお、2021年3月期の組替値は、監査を受けていない参考値です。



明日のコミュニケーションをデザインする



NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

\Orchestrating a brighter world

NEC

NEC ネットエスアイ